

# 「支所廃止案」から考える！

## 今後地域に必要な行政の役割とは？

柘植地域

# まちづくりだより

## 第263号

11月16日(月)夜、臨時の運営委員会を開催し、総務課よりこの件について行政説明をしていただき意見交換をしました。

### 経緯

一般のコロナ禍により住民説明会が開けない代わりとして、行政のほうより伊賀市広報や市のホームページを通じて、支所のあり方が説明されています。(別掲QRコード) また10月1日には全戸配付用紙を通じて意見聴取(11月末×切)がされました。前号でも掲載しましたが10月2日の郡部1自治協の会議(会長&事務局長が参加)においても行政説明を一応受けました。ただ内容を広く住民に周知いただくことは難しいと判断し、市と協議の上、今回、区長を含む運営委員レベルの規模で説明会を設けることになりました。



支所への来庁者数や来庁目的の統計データをもとに支所の役割や必要性が小さくなってきていることが示され、令和3年度末をもって市内6支所をすべて廃止する計画であることが説明されました。

しかし、防災・災害対応や住民自治の支援などのため、市内を3つのエリアに分け、地域振興センターを設置していくという案が考えられています。

その上で、一般のコロナ禍により住民説明会が開けないと判断し、10月1日の意見用紙配付となったと説明されました。なお、×切を過ぎても意見は受け付けるとのことです。



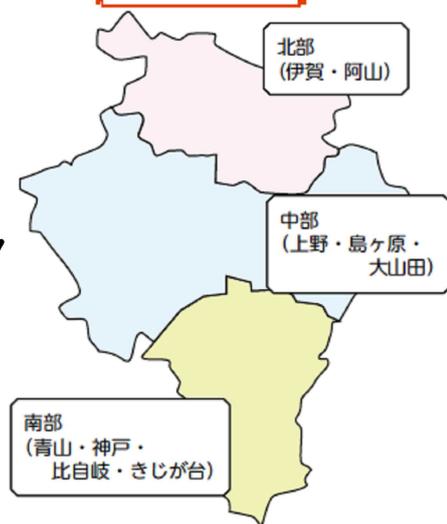
映像による説明

# この状況に私達はどのように向き合おう？



伊賀支所(旧伊賀町役場)

新しいエリア(案)



広報による説明



広報いが市3月1日号の特集より引用



発行 柘植地域まちづくり協議会事務局  
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地  
(柘植地区市民センター内)  
〒五二九-1402  
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三  
発行日 二〇二〇(令和二)年十二月一日(火)

柘植地域俳句コーナー  
キャンバスに  
冬日通し  
古窯画く  
辻本幸子

# 剪定講習会開催

10月23日(金)午前、いがまち造園組合主催、まち協産業交流部会共催の剪定講習会を開催し、6名が参加されました。



参加者も実際にマツやモミジなどにハサミを入れてやってみました。



いがまち造園組合のみなさん  
ありがとうございました!

当日は雨のため、市民センターでの研修となりましたが、脚立やハサミの使い方、始まり、実技では風遠しよく日光を受けやすいような枝ぶりに整えることを丁寧に教えていただきました。

## 豊富な名所・史跡を伝え残していくために



「観光振興」の観点から、産業交流部会の取り組みとして、柘植地域内各団体で観光ガイドさんや観光地図・観光マニュアルを用意している現状を出していただき意見交換をしました。

参加されたのは、「芭蕉」「横光」「余野公園」「霊山」「斎王」「柘植駅」等  
に  
関  
係  
す  
る  
皆  
さ  
ん  
で  
す。



11月3日(火)午前、山出区集議所において、関係者15名が集まりました。  
会議の前には山出区で行っている芭蕉さんフィールドワークの語り部活動(中段写真)を実際に体験させていただきました。

現状の課題としては、史跡の維持管理、継承のための資料展示の方法やガイド養成、観光コースの設定、そして問い合わせ窓口などが浮かび上がってきました。  
これからは柘植地域全体を視野に入れた受付窓口や説明のできる人材育成をどうするか求められているということでも一致しました。  
今回、集まっていた皆さんを核に、今後とも課題や情報共有を進め、せっかくある貴重な歴史を後世に引き継いでいきたいものです。



11月8日(日)、健康福祉部会・教育文化部会・産業交流部会・スポーツ推進委員会の共催事業として、ウォーキングイベントを実施しました。(18名参加)

柘植駅130周年関連行事としても位置付け、柘植駅発着で、徒歩と鉄道を使った変化に富んだコースを設定しました。

# 健康! 観光! みんなで行こう! ウォーキング

マンボの上を列車が走ります。中へ入って声を出すと・・・?



スタート

昭和29年完成の鴉山池記念碑の前で説明する松山隆治さん



加太トンネル竖坑の排煙棟跡

加太地区まちづくり協議会の森下会長から説明を受けました。

←加太地区の鉄道遺産の一つである「板屋川橋梁」を見学



加太駅から柘植駅へ出発進行!

# 悪質商法～こんなとき どうしますか？

最初に、悪質商法のさまざまなケースを網羅したDVDを視聴しました。続いてクーリングオフ制度やネット販売などについて「OXクイズ」をしたり、「還付金詐欺」についてのロールプレイングも行いました。



11月5日(木)夜、柘植地区市民センターホールにおいて、生活環境部会活動の一環として市民生活課2名による出前講座「消費者被害防止講座」を開きました。(参加者19名)

11月20日(金)夜、昨年度の研修、そして夏の研修に続いて、産業交流部会主催の農業研修会(シンポジウム)を開催しました。パネリストには、いがふるさと農協の中里太さん、伊賀市農林振興課の上島成弘さん、倉部営農組合の岡島久司さん、

**地域農業を守るために!**

年末は特に要注意！  
とにかく、疑問に思ったら、すぐ相談を！

これら具体的な研修を通じて、被害にあわないためのポイントなど知識や交渉力を身につけることが出来ました。



11月20日(金)夜、昨年度の研修、そして夏の研修に続いて、産業交流部会主催の農業研修会(シンポジウム)を開催しました。



これら具体的な研修を通じて、被害にあわないためのポイントなど知識や交渉力を身につけることが出来ました。

これから地域をつなぐのを深め、地域の農業を守っていききたいものです。



そして柘植地域へ移住して来られインターネットなどを使い工夫を凝らし農業を営まれている「あいうえお農園」の佐藤慶彦さんをお願いしました。

## 柘植地域の農業の将来について考える

# おかはなイルミネーション・・・



# つながり

テーマは

今年で3年目になる「おかはなイルミネーション」・・・。「岡鼻 あかつき いきいきサロン」の皆さんがペットボトル1本ずつにひもを通し、それをつなげたものを11月23日に民生委員と福祉協力員やその家族と有志が集まって大きな木に仕上げました。

みなさん、ぜひ見に来てくださいませ！  
(岡鼻区長)



一人ひとりからみんながつながり、そして地域全体がつながれるようにとの想いから、テーマを『つながり』にしています。

特に今年は、新型コロナウイルスの感染拡大により3月からいきいきサロンを開催していませんのでみなさんが集まる機会がなくなり、またそれぞれがコロナ感染への不安もある中で気持ちが暗くなりがちです。

こちらもヨロシク

## 駅前イルミネーションも点灯中!

今年も駅前がにぎやかになっています。昼間は草花、夜は幻想的なイルミネーションをお楽しみくださいませ！(産業交流部会)



そこでみなさんの気持ちも少しでも明るくなり笑顔が増え、疫病退散の願いも込めて、今までよりバージョンアップした仕上がりになりました。来年の2月10日頃まで明るく照らします。

# 令和二年度 「しぐれ忌」開催

十一月十二日(木)、松尾芭蕉翁の遺徳を偲ぶ「しぐれ忌」が山出区萬壽寺で営まれ、住民ら約百名が参加されました。

コロナ禍のなか、境内の入り口では来場者の方へ手指の消毒や検温の協力をお願いし、本堂への入場制限も行い、入れない方は境内のテントに席を設け、外にも焼香台を設置しました。

午前九時半より(公財)芭蕉翁顕彰会の岡島久司会長が開式の言葉を、宮田正一副会長が顕彰の言葉を述べられ、その後、落合住職による法要が営われました。

法要後は、境内の墓へ献花し、皆さん列をなし墓参されました。今年はいくす防止の為、女性部の手づくりの甘酒や鬼饅頭のもてなしは中止し、紙パックの甘酒を参加者の皆さんへお渡ししました。

境内には今年も「山出区菊の会」の方々の丹精こめ育てられた菊と、いきいきサロン「芭蕉の里」の二十六名の寄せ植えを展示し、皆さんに見ていただきました。



に『芭蕉涅槃図の世界』と題し、講演いただきました。

この後、本堂では岡本市長の挨拶に続き、山出区協賛事業実行委員会主催による記念講演として岐阜県大垣市にある奥の細道むすびの地記念館の学芸員山崎和真さん

芭蕉は没後、俳諧が普及し大衆化する中で、神格化されるようになった時代背景を紹介し、釈迦が入滅した様子を描いた涅槃図と同じ構図で、芭蕉の涅槃図も描かれるようになったと構図を示しながら説明してくださいました。



ご来場いただいた皆さん、また当日、投句して下さいの方々、ありがとうございました。

山出区しぐれ忌協賛事業実行委員会



## 柘植地域の 防災の取り組みを発信!

10月26日(月)、阿山保健福祉センターで阿山地区の民生委員児童委員の研修会に、また11月22日(日)には、ゆめぼりセンターで上野地区公民館出前講座(写真)に、いずれも防災委員会の服部と西田で実践提案をしてきました。

今年度、コロナ禍の中で「分散避難」をテーマにアンケートを取りつつ訓練したことなどを紹介したことで他所との意見交換をすることもできました。



防災委員会



### ☆☆☆事務局だより☆☆☆

▼岡鼻区と山出区で行われているイベントを寄稿していただきました。地域内12区の交流&つながりがより深まればと思います。▼今後モノマスクでは過ごせない日々が続きますが、大事なことで口をふたをすることのないようにしたいものです。▼皆様、よい年末を。(西田方計)